

卒業生代表挨拶

本日は、私たち卒業生のために。「卒業証書・学位記授与式」という素晴らしい式を開いていただきましてありがとうございます。卒業生一同、心から感謝申し上げます。

先程は宮崎学習センターの石川所長様から心温まるお言葉をいただき感慨ひとしおでございます。また、本日ご列席の来賓の皆様、お忙しい中ご参列いただき、温かい言葉を頂きましてありがとうございます。そして、石川所長をはじめ、宮崎学習センター職員の皆様の、これまでの学生への手厚い支援に対しましても改めて感謝申し上げます。

また、宮崎学習センターの栄えある賞の表彰をいただきましたことは、私たち卒業生にとっては、最高の喜びであります。それぞれの表彰をお受けいたしました卒業生に代わりまして重ねて、お礼申し上げます。

私事で恐縮ですが、私の入学の動機は「学位取得」というだけのものでした。高校卒業までは大学進学希望でしたが、卒業直前の母の死があり、また就職採用日が3月1日であったこともあり進学をあきらめました。しかし、就職先が宮崎大学ということもあって、同級生が入学してきましたが、彼らには負けたくないとの気持ちもあり、中央大学の通信教育部に入学し4年間頑張りましたが、仕事との両立はかなり難しいものがあり途中で挫折してしまいました。そして、宮崎大学を退職後、放送大学に勤務することになり、在学生の皆様の頑張っておられた姿を拝見し、5年間勤務のあと自分もやってみようかという思いからでした。

ただ少し残念だったことがあるとすれば入学後にコロナ禍が重なり、単位認定試験が会場ではなく自宅受験となったことです。試験会場で同じ科目を学んだ者同士が会えなくなったことでした。試験会場でお互いの話をするのも楽しみの一つであったなと懐かしく思えます。

最後になりますが、ここまでこれたのも、学習センターの皆様や学友の皆様ののおかげだと感謝し、今後の放送大学及び宮崎学習センターのさらなるご発展と本日ご出席の皆様のご活躍とご多幸を祈念しまして挨拶といたします。

令和7年3月23日
卒業生代表 齋藤 義弘